

令和2年4月1日

東京都知事

小池 百合子 様

東京都議会自由民主党
幹事長 鈴木 章 浩
(緊急対策チーム座長)

新型コロナウイルス感染症への緊急対応について（要望）VOL. 10

世界的規模で蔓延する新型コロナウイルス感染症については、都内においても激増期の兆候が見られる。現状の医療基盤や運用体制はすでに限界に来ており、すでに様々な支障が生じている。都は、今後の重大局面に対応できるよう再構築すべきである。下記のとおり、都の対策を総合的かつ強力に推進するよう改めて緊急に以下の要望をする。

記

1. 罹患者は激増しており、都内全域で医療機関の入院態勢を把握・管理する必要がある。調整本部及び入院コーディネーターを速やかに設置すること。
2. 都内医療機関における人工呼吸器および人工心肺装置（ECMO）の数、及び必要な医療資機材等についても速やかにその把握・確保に努めること。
3. 陽性反応が出た方のうち、無症状及び軽症者の隔離態勢を確立させ、重症患者の受け入れ態勢を早期に整備すること。
4. 重篤患者については、1箇所集中させるのか、分散させるのかについての指針を早急に策定し、運用すること。
5. 新型コロナ受診相談窓口（帰国者・接触者電話相談センター）および新型コロナコールセンターでは、一般の方と同一回線のため医療機関の緊急連絡が取れないなどの支障が生じている。早急に医療機関専用の回線を作ること。
6. 新型コロナウイルス対策によって、その他の疾病（人工透析・がん・その他）患者の診療態勢に影響を及ぼさないようにすること。同時に、免疫機能が低下しているこれらの疾病患者への新型コロナウイルス防疫態勢を万全に行うこと。
7. 小池知事が会見で指摘した特定業種の事業者に対しては、実情を把握し、早急な補償や経済支援に着手すること。

以上